



琵琶湖にまつわるエトセトラ

MMI

onthly other lake

プロガイド・おくむらさとしが
琵琶湖の釣果情報、必須ルアー
そして旬の話題などなど、気になる
情報満載で毎月お届けします。
これさえ読めば、琵琶湖で
ポーズの心配はナン！ぜひ一読を。
おくむらさとし=報告



今月のピックアップ

あけましておめでとうございます。
いよいよはじまりましたね、2010年。冬季五輪、そしてサッカーW杯の年となる今年、琵琶湖のブラックバスのご機嫌はどうなるのでしょうか。2009年は結果的には「よかった」一年になりましたが、内容的には「不安定」な年だったため、結果的にも内容的にも「楽しかった」一年になることを切に願います。こういうお願いは初詣で神様に聞き入れてもらえるのでしょうか？

のバスを相手に「簡単に釣らせてくれ〜」と思っても、なかなか思い通りにはなりませんよ。

壁を乗り越える術を考える それが「経験値」となるのです。

そんな厳しい初釣りを、ボクたちガイドは、ゲストさんにとつてめでたいモノにできるようにがんばらなといけません。なので、これまで積んできた冬の経験を踏まえて、いろいろと考えを張り巡らせるワケです。つまり、経験値がものをいうのです。冬は、です。で、経験値の高いベテランガイドさんはお茶の子さいさいで、ゲストさんに釣っていただいているはずですよ。そしてボクは、そんなベテランガイドさんに追いつけるように、日々精進、でございます。

います。この時期の琵琶湖・南湖は水温が6℃前後まで落ち込み、チャンネルと呼ばれる水深が4〜5mある場所にバスが集まってくる。そのバスをどう釣っていくかがキーになるのですが、方法の1つにディーブランクでの釣りがあります。最近では、多くのアングラーがその効果を知って、みんなでグリグリと巻いていますが、みんなやっちゃうと、やっぱり、プレッシャーつてのが気になります。

そして今回。ディーブランクの釣りで考え、実行して、導き出した答えが「速く巻く」でした。ここ数年、琵琶湖南湖のディーブランクというと、ウィードに当てて浮かせる釣り方が主流となっています。ですが、どうやらバスは、そんなクランクバイトばかりなのを見飽きており、簡単に口を使ってくれない状態に陥っているようなのです。そこで考えた結果、レンジコントロールをして、ウィードに軽く触れる程度にし、ひたすら高速でグリグリと巻くという方法を試みました。するとそれが大正解で、2010年しよっぱなのガイドは、上手くアジャストすることができたのです。

今年いきなりのガイドでは、クランクがええ仕事してくれています。琵琶湖南湖の水温の低下によって、バスはチャンネルに集まってくる。そこをクランクで釣っていくわけなんです。ただし、それにはキモが...

フィッシングショーは 大阪・横浜ともに大出陣!

いよいよこの季節がやってきましたね、フィッシングショー！もちろん、大阪にも横浜にも顔を出します。常駐は谷山商事内の「邪道コーナー」ですので、ぜひぜひ、遊びにきてください。今年は新製品がめじろおしですので、期待しててくださいねー！



いよいよフィッシングショーですね。今年もみなさんにお会いできるのを楽しみにしています。ぜひ邪道ブースにお越しください

それをどうしたら乗り越えられるのかを考えて、実行する。この繰り返しが経験値を積んでいくのだとボクは思っています。



多くのアングラーが同じことを実践しているので、プレッシャーが掛かります。そこで導き出したのが「速く巻く」。ひたすらグリグリ高速巻き。これが大正解でした。クランクはブリッツマックスDRを使っています

